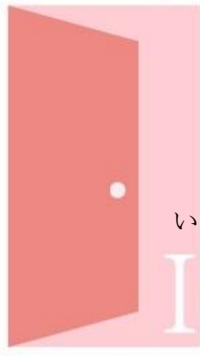


2023年 3月



いってらっしゃい



いくじいん

Ikuji in だより

おかえりなさい



第47号



現在5名の子ども達が家庭的な雰囲気の中生活をしています！



昨年11月から分園型小規模グループケアを開設しました。小規模化は育児院にとって初めての取り組みとなります。

現在、中学生2名、高校生3名の計5名の児童と、常勤職員3名、サポーター職員4名が生活を共にしています。グループホームでは、子どもに1人ずつ居室が用意されており、それぞれの個性が居室によく表れています。また、キッチンとリビングが一緒になっているため、職員は料理をしながら子どもの様子を見たり、子どもの話を聞いたりできることが魅力です。

子どもたちは普段、自分の居室で過ごし、リビングでテレビを観ながら他児と談笑したりして過ごしています。また、食事を作るお手伝いをしてくれることもあります。グループホームならではの様子が多くみられます。料理に不慣れた職員は子どもたちのお手伝いに非常に助けられています。

また、休日にはホームのみんなで映画を観に行ったり、クリスマスの日には少し遠出をしてイルミネーションを見に行ったりと、大人数では難しかった「ちよつとしたおでかけ」を楽しみました。

新生活が始まって5カ月ということもあり、職員も手探り状態ですが、子ども一人ひとりと密にかかわることや、子どもたちが生活しやすい環境を整えることを第一に日々精進していきます。



分園型小規模グループケア 「えん」開設

私は心理療法担当職員として働いています。これまで臨床心理学を学び続け、日々の支援に役立てるように努めてきました。興味の幅は広がり、ここ最近ではほかの色んな分野を知ること面白くなってきました。そうする中で、広い視野で物事が捉えられるようになっていくのがとても楽しいです。そんな中、世界全体の流れについて興味深い重なりを感じました。

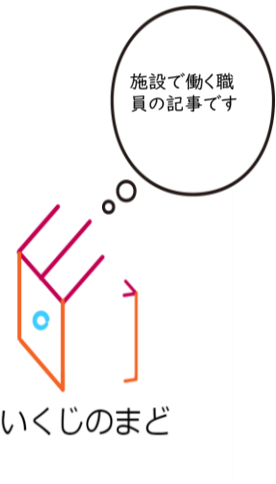
経営学の分野で近年になり「ティール組織」とか「心理的安全性」という言葉が有名になっています。これまでの権威的で合理的な組織や、同じ価値観を大切にする仲良し組織とも違う、深い安心感の中にある組織の事だそうなんです。さらに、そんな仕組みの中では個人個人が個性や自主性を発揮して組織自体がすごい成長をしているという調査結果があるそうです。

話が変わり、臨床心理学の分野でも最近になり色々な心理療法をまとめて上げ洗練させる「統合的な心理療法」の流れが出て来ています。その中でもとくに「マインドフルネス」の要素がいろんな療法に組み込まれるようになってきています。この「マインドフルネス」は「今、ここ」に意識を向けることでもとても深い安心感を感じる考え方や方法です。

いろんな分野を知り、改めて「安心感」が人の営みの中でとても大切な事、世界の流れを見てもそれが明らかかなことをひしひしと感じています。自分から出来る事を、一歩ずつ、自分自身から始まり、子どもたちや、身の回りの人たち、ひいては社会全体へと波及するように...

心のケアを担う人間として今日も安心安全の輪を作っているように心掛けています。

心理士 今城一敏



施設で働く職員の記事です

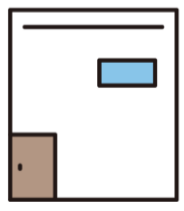
いくじのまど

事務長 林田徳夫

山口育児院大規模修繕工事について

山口育児院の現在の建物は、平成16年(2004年)に、国庫補助を受け改築し、もうすぐ20年となります。この間雨漏りの修理や空調設備の更新などを行って来ています。しかしながら二階へ上がる図書階段の天井部分など、補修をしても雨漏りが止まらない箇所があり、令和3年の1月の寒波の後には、さらに雨漏りがひどくなってしまいました。このため、建築関係の業者に見てもらったところ、建築後一定の年数が経過しており、屋根の防水シートなどが老朽化してること、雨漏りの場合合浸水箇所はなかなか特定できないことから、屋上全体の防水シートの貼り替えをすめられていました。このため、「理事会」の理事さん等と相談し「山口育児院屋上防水及び内部改修工事」を実施することとして、県・国へ大規模改修工事の実施についての協議を行い、令和4年8月に「令和4年度山口県次世代育成支援対策施設設備補助金」の補助を行う予定である旨のお知らせ(「内示」といいます。)があり、現在改修工事を行っています。

工事は、雨漏りをなくすための屋上防水シートの貼り替え(約600㎡、畳360枚分)、傷んだ天井や壁の貼り替え、浴室の天井の貼り替えなどをしています。工事は、3月中旬に終わる予定です。今、建物の周囲は、足場で囲ってあり工事の様子を見ることはできませんが、雨漏りがなくなり、壁がきれいになっていくなどの目立たない変化ですが、子どもたちの生活環境は良くなると思っていますので、引き続き工事についてのご協力をお願いします。



家庭支援相談員 山田亜美

分園型グループケア「えん」が昨年の11月より始まり、子ども達と職員でのワクワクドキドキ、手探り生活がスタートしました。

今までの大舎制の生活と少し変わり、職員と子ども達の距離がぐっと近くなりました。その分、子どもも職員も戸惑う所はありましたが、お互いに話し合いをしながら生活を進めてきました。料理や掃除、洗濯といった家事も子ども達が張り切って率先してお手伝いをしてきています。料理に関しては、「作りたい、やってみたい」とどんどん挑戦し、今ではほとんどの子ども達が簡単な料理ができるようになりました。そんな中で初めて迎えるお正月。何を準備したらいいのかと職員はバタバタです。でも子ども達は意外と冷静です。「何をしたらいい？いつ掃除する？」そんな声が子ども達からも上がります。

一緒にやった大掃除。今まであまり触れることのなかったキッチン回りの掃除からスタートです。グリルや換気扇をゴシゴシ職員が磨いてくると、子ども達も部屋から出てきて手伝ってくれます。「こんなに汚れるん？くさっ！」と言いつつ一緒にゴシゴシ磨いてくれます。「めっちゃキレイやん。コレ維持したいね」と言い合う子ども達を見てとても嬉しく思いました。

その後にはみんなで買い出しです。年末ならではのお店の雰囲気や人の多さに圧倒されながらも、メモした食材を手分けしてカゴに入れていきます。「私、レジにピッてやるね」「じゃあ袋に入れていくね」とさっさとやってくれ、混雑の中でもスムーズに会計を終えることができました。

帰宅後は、お正月の飾りつけをしました。鏡餅の飾り方もネットの写真をみながらアールだこーだ言いながら飾りつけをしました。ネットの写真のようにうまくいかず、笑いながら飾りつけをしていました。お正月の花は中学生の女の子がとても素敵に活けてくれました。みんなから「え！すごいやん。めっちゃ上手やん」と言われその子も少し嬉しそうでした。職員はただただ感謝です。

こうしてみんなで準備して迎えたお正月も楽しく過ごすことができました。これからも、色々なことがあると思いますが、子ども達と一緒に失敗を乗り越えながら乗り越えて楽しく生活を送っていきなすと思っています。





いくじのまど

幸せとは何かを追求するために社会福祉士になりました。

縁あって児童養護施設の相談員になりました。自分の子どもも小学生なので、支援の際には何か良い方法が浮かぶかなと思っていました。いざ対峙すると難しいです。

『自分で選択することが出来ない。』児童が多いです。理由として考えられることは、失敗することへの恐怖であろうと推測します。失敗して大人から叱られることを経験してはいるので、新しいことや難しいことに挑戦することをためらうのでしよう。また、努力することが難しいです。すぐに結果が出ず、結果が目に見えないから等が理由です。

なんだかんと言っ、日本は競争社会の原理で成り立っているため、努力しても必ずしも報われるわけにはありません。社会人になれば責任の取り方も問われてきます。

幸せの価値観は人それぞれ違います。簡単に手に入るものは簡単に失われ、人から与えられたものは価値としては思ったほどでもありません。しかし、苦労して自力で獲得したモノの価値は高く、容易に手放すことはないと思います。小さなことからコツコツと積み上げて、気持ちよく社会に出られるように支援が出来ると思います。



新人職員紹介



前田菜結 保育士

昨年10月に保育士として入職いたしました。前田菜結と申します。坂本龍馬や桂浜で有名な高知出身で、昨夏までは京都で生活しておりました。

そんな私が山口育児院で働きたいと思いはじめたのは、社会的養護や長州の歴史に興味を持った十代の頃です。しかし、紆余曲折ありこれまで全く異なる業種で働いてきました。社会人になりしばらく経ってから勉強を始め、昨夏保育士の国家試験に合格したのを機に、施設保育士への転職を決心しました。

これまで子どもと関わる機会が一切なかったため、入職した頃から子どもとの関わり方に戸惑うばかりでした。しかし、慣れない私を遊びに入れてくれたり、子ども達が心の内を話してくれたりして、少しずつではありますが距離を縮めることができてきたと思います。

日々様々なことにつまずき、スタートラインから一歩も進めていないのではと思う毎日ですが、これまで私自身が経験してきたことを活かして、子ども達の人生の選択肢を増やせるような職員になることが今の目標です。まだまだ未熟者でご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願いたします。



寄付・寄贈

令和4年4月～9月分

久本和夫様、天徳寺様、山口県食肉生活衛生同業組合様、富田朋子様、吉本侃司様、瑠璃光寺晋山委員会様、ふるさと山口経営者フォーラム様、明星幼稚園様、関様

株式会社恵様、光孝寺様、更生保護女性会大庭支部様、放光寺様、山口観光コンベンション協会様、谷口仁美様、準組河本準一様、木村正樹様、飯塚雅子様、瑠璃光寺様、中村様、フレール館様、NTT西日本様、超覚寺様、中村しろう様、永福寺様、侍様、株式会社nigitto様、高木様、山野様、鈴木慧子様、マラニック大会本部様、中谷拓嗣様、寺内毅一郎様、仕出しのかとう様、中村様、山口ロータリークラブ様、南禅佐賀協議会青年部様、田中憲一様、山口県遊協図書様、大橋佳奈様、関和貴様、フジ電機労連様、中谷様、東滝町内会様、児玉ひとみ様

この他、匿名の方より寄付・寄贈をいただいております。皆様、ありがとうございます。

※順不同



埋もれています(・_・)

河野

1月末に10年に1度という寒波が来ましたが、育児院のグラウンドには10センチ程度、雪が積もり、学校から帰ってきた児童数人は大喜びで早々に宿題を終えるとグラウンドに駆け出して文字通り全身で雪を楽しんでいました。雪合戦には不向きなパウダースノーでしたが、ある男子が雪に埋まりたいというので、雪をかけてあげると、しばらく雪の世界を静かに楽しんでいました。

ここ数年ここまで積もることはなく貴重な雪遊びの時間でした。次回はまた10年後でしょうか。。。

雪は降ると困ることも多いですが、ワクワクするのは私だけでしょうか。



お知らせ

育児院では、地域の方々に施設を利用していたく為に、いろいろなサービスを実施しています。

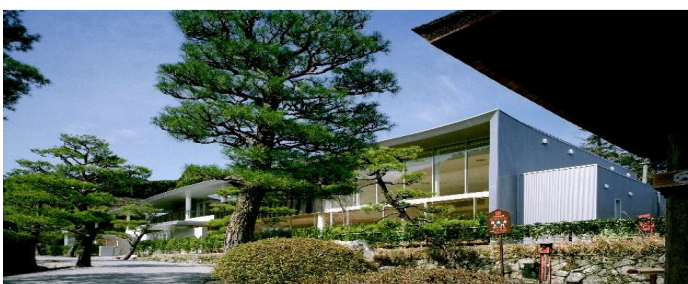
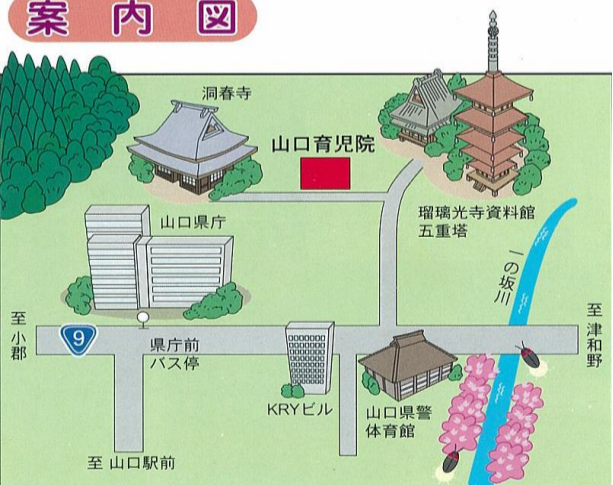
◎トワイライトサービス
仕事の関係で帰宅が夜間になる方、お子さんの下校時より仕事終了時迄お預かりいたします。

◎短期入所サービス
病气、事故、出産等で養育が難しくなった時等、短期間お預かりいたします。

※当院をご利用希望の方はお気軽にご連絡下さい。又ポランテアの受け入れもしております。福祉に関心がある方、是非一度ご来院ください。

お詫びと訂正
育児院だより第46号に掲載した「令和3年度収支報告書」に誤りがありました。訂正したものを別紙の通り添付しております。ご迷惑をお掛けしお詫び申し上げます。

案内図



194
今回号より「育児院だより」のデザイン、構成を心機一転変えてみました。コンセプトは「家」で帰ってこれる場所、ここから出かけているようなチャレンジ・経験ができるように扉にしてみました。また、いろんな職員にも協力をしてもらい、多様な視点で記事を書いてもらっています。

河野